

平成27年度 事業報告  
(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

公益財団法人 中央温泉研究所

## I 概要

平成27年度においては、前年度に引き続き内外需要の緩やかな増加、雇用や所得環境の改善、株高などで景気は回復基調にあったが、平成28年春頃から、新興国経済の減速、金融市場の混乱、更にイギリスのEU脱退問題などが続き、個人消費の低迷とデフレ再燃の懸念が高まりつつある。国内では4月以降、熊本地震、伊勢志摩サミット、参議院選など年度末にかけて慌ただしい雰囲気であったものの、温泉地は、インバウンドの影響でこれまでの低迷からの脱却が見込まれている。

このような情勢下、国は温泉資源の保護を図りながら再生可能エネルギーの導入を促進する一方、温泉利用の多様化に即応した適正利用の推進、利用面における安全対策の確保、地域の活性化と魅力向上を図り、国民福祉の向上に寄与することを指針としている。

近年の温泉熱の利用状況としては、浴用、飲用以外では高温領域は発電、暖房等、低温領域は排熱の回収といった利用が試みられているが、温泉全体の利用規模から見れば未だ小規模で、今後資源規模とのバランスのとれた開発の研究が不可欠である。

本年度は温泉資源の探査、保全、整備に係る調査、資源の現状や経年変化、利用面での安全対策、分析法の検討、揚湯・給湯施設の整備、補修に関する調査など、温泉資源の保護と適正利用に係る多方面での業務を実施した。

## II 事業報告

### 1. 会議の開催

| 会議名      | 開催日時、場所                                    | 主な議決事項等   | 出席数/賛成数           |
|----------|--|---|-------------------|
| 第1回定例理事会 | 27.9.1(火)14:00～<br>雑司が谷地域文化創造館<br>(第1会議室B) | 1. 平成26年度事業報告(案)の承認の件<br>2. 平成26年度収支決算(案)の承認の件<br>3. 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 | 出席数8人<br>(現在数11人) |

|           |   |   |                   |
|-----------|---|---|-------------------|
| 定時評議員会    | 27.9.18(金)13:30～<br>雑司が谷地域文化創造館（第4会議室）  | 1. 平成26年度事業報告及び収支決算(案)承認の件<br>2. 評議員改選の件  | 出席数7人<br>(現在数7人)  |
| 第1回臨時評議員会 | 27.9.18(金)15:20～<br>雑司が谷地域文化創造館（第4会議室）  | 1. 評議員会会長の選任について  | 出席数7人<br>(現在数8人)  |
| 第1回臨時理事会  | 28.2.5(金)14:00～<br>雑司が谷地域文化創造館（第4会議室）   | 1. 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件   | 出席数6人<br>(現在数11人) |
| 第2回臨時評議員会 | 28.2.17(水)14:00～<br>雑司が谷地域文化創造館（第1会議室B） | 報告事項（上期事業活動状況ほか）  | 出席数8人<br>(現在数8人)  |
| 第2回定例理事会  | 28.6.10(金)14:00～<br>雑司が谷地域文化創造館（第2会議室）  | 1. 平成28年度事業計画(案)の承認の件<br>2. 平成28年度収支予算等(案)の承認の件<br>3. 主たる事務所の移転について<br>4. 定款の変更について<br>5. 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件<br>6. 研究所組織運営規程(案)について<br>7. 就業規則(案)について<br>8. 職員給与規程(案)について<br>9. 職員退職手当支給規程(案)について<br>10. 役員報酬規程の変更について<br>11. 事務局長任命の承認について | 出席数9人<br>(現在数11人) |
| 第3回臨時評議員会 | 28.6.17(金)14:00～<br>雑司が谷地域文化創造館（第3会議室）  | 1. 平成28年度事業計画(案)の承認の件<br>2. 平成28年度収支予算等(案)の承認の件<br>3. 主たる事務所の移転に伴う定款の変更について   | 出席数8人<br>(現在数8人)  |

## 2. 事業活動

### (1) 温泉に係る化学的・地質学的・工学的調査（公1）

#### ① 国等調査事業

中毒事故の安全対策及び温泉成分の分析法の研究、並びに温泉資源調査と周辺地下水の関係を含む地質学的、工学的影響調査等を実施した（8件）。

#### ② 国等設備等設計事業

温泉地整備調査及び温泉揚湯設備に係る工学的調査などを実施した（4件）。

### (2) 温泉資源の探査・適正利用に関する調査（公2）

① 温泉資源の開発・探査・保全・整備に係る調査、資源変動、探査調査として  
地方自治体から5件の依頼があった。この一部は、前年度からの継続調査である。

### (3) 温泉の分析検査、温泉附随ガスの測定などに関する研究・調査（公3）

#### ① 分析事業

鉱泉分析法指針による温泉分析           26 件

温泉附随ガス分析                           19 件

### (4) 温泉保護及び適正利用に関する研修会・成果普及（公4）

#### ① 第55回温泉保護・管理研修会

温泉旅館経営者や温泉事業者及び地方公共団体の温泉担当者を対象に、温泉の保護と適正利用に関する研修会を開催。参加者111名。

#### ② 技術相談・指導業務

地方公共団体、温泉関係学会などにおける各種講習会への講師派遣を行うと共に温泉の適正利用及び危険防止対策等に関する相談を行った。

③ 講師派遣及び検討会、講演会等への参加は、別記Aの通り。

④ 関連学会での講演等への発表内容及び学会誌等への発表内容は、別記Bの通り。

### (5) 温泉資源及び利用施設の現況等の調査（収1）

#### ① 一般温泉事業

温泉資源、掘削井の現況調査、温泉発電における設備の適性化調査等として、民間より8件の依頼があった。

### (6) 温泉利用設備の設計及び管理等（収2）

#### ① 温泉利用施設の計画・設計及び管理等

温泉設備の修繕・監視・長期計画・管理等に関して、民間より9件の依頼があった。

#### 別記A 講師派遣及び検討会、講演会等の参加

- ① 都道府県自然環境保全審議会 : 東京都、埼玉県、栃木県、福島県、静岡県、和歌山県、愛媛県、群馬県(特別委員)
- ② 検討会 : 茨城県温泉利用認定委員会、(一財)日本環境衛生センターによる温泉の温暖化対策研究会
- ③ 講演会 : 日本温泉地域学会、長野県温泉協会、日本温泉管理士会、全国温泉集中管理団体協議会、健康と温泉フォーラム、入浴施設衛生管理協議会
- ④ シンポジウムでのパネルディスカッション : 長野県温泉協会創立記念シンポジウム、環境省主催全国温泉地サミット in 東京、環境省主催温泉地活性化に向けたシンポジウム
- ⑤ NPO 法人健康と温泉フォーラム 平成 27 年度国民保養温泉地計画改定等委託業務

#### 別記B 関連学会での講演等及び学会誌等への発表内容

##### [講演]

- ① 日本温泉科学会 第 68 回大会 (平成 27 年 9 月、山形県天童温泉 )
  - 上山温泉における新開発 2 源泉の利用後の温泉資源の動向
  - 熱海温泉の泉質の変化—CaCl 型塩化物泉—の増加
- ② 日本火山学会 2015 年度秋季大会 (平成 27 年度 9 月、富山市)
  - 秋田県乳頭温泉付近で発生した硫化水素中毒事故
- ③ 全国温泉集中管理団体協議会 (平成 27 年 7 月、静岡県修善寺温泉)
  - 修善寺温泉における資源の経年変化と集中管理について

##### [論文発表等]

- ① 温泉科学
  - 源泉の設置に関する一考察、65 巻 3 号、平成 27 年
  - 山形県上山温泉における新源泉開発について、65 巻 1 号、平成 27 年